

2010. 12/11

学際セミナー「都市コミュニティの再生」

都市のコミュニティと文化、ネットワーク

渡部 薫

熊本大学
大学院社会文化科学研究科

「都市のコミュニティと文化、ネットワーク」

1. テーマの意味するところ①

- 講演の目的

- 経済的活力、新しい創造を導くような都市のあり方を考える。そのような課題において都市のコミュニティをどう見たらいいのかについて検討を行う。
- そのとき、文化とネットワークという2つの視点を導入する。

- 都市のコミュニティをどう見るか

→多様なコミュニティの集まりから構成された複合的なもの

- 自治会などを典型とする地縁的な結合だけではなく、会社などの職場におけるコミュニティやテーマ・コミュニティのような任意参加タイプ等、様々なコミュニティから構成されていると見ることができる。
- このような多様なコミュニティが集まって構成されている都市の地域コミュニティがどのようにしたら活力や創造的な力を生み出すことができるかについて考える

都市のコミュニティと文化、ネットワーク

1. テーマの意味するところ②

- 文化という視点

→文化経済時代ということで文化が一つの重要な役割

- コミュニティ間のネットワークにおいても文化創造が重要なテーマになる

- ネットワークという視点

- 都市で活躍する企業、NPO、自治体、各種機関等のアクターが結びついて、そのネットワークの中で創造的な力を波及させ、その力を循環させることで都市のコミュニティの経済的活力や創造性を高めることが重要

2. 経済学的関心におけるコミュニティ、ネットワークへの関心

- 経済上のパフォーマンスにおけるローカルの持つ役割への注目
 - コミュニティやネットワークへの関心
 - 地域の持つアクター間のネットワークの重要性・・・シリコンバレー
 - 創造性やイノベーションを生み出す地域内のネットワーク
 - 変化の激しい市場への柔軟な対応
 - 産業クラスター
 - ローカルなコミュニティにおける知識の共有と創造
 - 新たな知識の学習；暗黙知の創造、共有と伝播
- コミュニティかネットワークか
 - 明確に区分せずに使われている
 - * コミュニティ: 共同性や連帯感情を重視。・・・他には？
 - * ネットワーク: 人や組織の間のつながりを重視。
 - いずれにしても、同じように人の集まり、その中での関係性を見ているが、重要なのは、コミュニケーションと共同性

3. 都市の持つ多様性への注目とネットワーク①

- ジェーン・ジェイコブスの主張
 - 都市の持つ多様性の重要性をいち早く主張
→『アメリカ大都市の死と生』(1961年)
 - 現代の都市計画が都市の中に清潔や安全性、快適さ等の機能を純化、選別して、機械的に追求することで、都市のコミュニティが育んできた複雑で濃密な社会的関係や都市が本来持つべき多様性などの特質を損なってきた、と批判
 - ジェイコブスは、多様性、混合性、密集性で表現されるようなアーバニティを体現している都市空間こそ新たな創造を生み出し、イノベーションを生み出す温床であることを主張

3. 都市の持つ多様性への注目とネットワーク②

- 多様性をどう捉えるか

- 多様な人々(アクター)がそれぞれ多様に結びつき、重層的・複合的にコミュニティを形成している状況
- このようなコミュニティ群が相互に結び付きネットワークを形成していることが重要
 - 異なる背景を持ち、異質な考え方や多種多様な情報を持っている多様な人たちが交流し、頻繁に相互作用する中でお互いに影響し合っ
て、新しいアイデアやイノベーション、事業が生まれる
 - このようなネットワークは新しいものを生み出すだけでなく、相互に
支え合うことによって育む場ともなる
 - 多様な要素があるだけではなく、それらの間に有機的な結合が存在
し、そこからアイデアやイノベーション等を生み出す創造的なメカニ
ズムが形成されていることが重要

4. 創造都市とコミュニティ、ネットワーク①

- 創造都市とは何か・・・定義
 - － 脱工業化や知識社会化・文化経済化というような経済社会の構造的な変動に伴って起こる都市を取り巻く環境の変化やそこから生じる問題等に対して、
 - － 人々のもつ創造的な力を引き出すことによって対応し、地域社会の活性化を図ろうとするもの

4. 創造都市とコミュニティ、ネットワーク②

- 創造都市とは何か(つづき)
 - 自己を取り巻く環境の変化に自律的に対応するための一つのガバナンスのあり方を示すものであり、都市の持続的な自立戦略
 - そして、その自己調整の方法、ガバナンスの核となるものが創造性である
 - 都市を構成する市民、企業、自治体、NPOなどの様々なアクターやネットワークの社会的な潜在力を引き出し、創造的な力として顕在化させ、活用する
 - そのとき、文化や芸術の持つ創造的パワーの役割に注目する
 - 産業の核としての創造産業(文化産業)

4. 創造都市とコミュニティ、ネットワーク③

創造都市論の主張1:チャールズ・ランドリー

- チャールズ・ランドリー
 - 英国の文化計画コンサル;*Creative City*の著者
- 都市の創造的な対応能力を形成するためには
 - 自由で創造的な文化活動の展開
 - 文化インフラストラクチュア(文化資源、文化環境、教育研究システム、情報コミュニケーション・システム、文化芸術支援制度等)の充実
- そのような文化活動と文化インフラストラクチュアに支えられたアクター間のネットワークの中で創造的な力が生まれ、それがネットワークを通じて色々なアクターや経済、文化、教育等のあらゆる分野において連鎖反応を起こすことで既存のシステムを変革する

4. 創造都市とコミュニティ、ネットワーク④

創造都市論の主張2:リチャード・フロリダ

- リチャード・フロリダ
 - 米国の経済地理学者; *The Rise of Creative Class*の著者
 - 都市の分析から米国の成長している都市には創造的職種の人たちが多くを発見
 - 都市の発展のためには成長産業を誘致するのではなく、いかに創造的人材を惹きつけるかにかかっている、と主張
 - 創造的コミュニティの提案
 - 現在のような創造的産業が経済を主導する時代において、都市の成長のためには、創造的階級を惹きつける魅力ある環境を備えたコミュニティが重要
 - フロリダは、社会的環境として創造的階級の持つエートスがその環境において充たされるかという観点から、多様性、開放性、そしてとりわけ異質な要素の参入を受け入れる寛容性という要素を重視
- それらの要素を備えたコミュニティとして創造的コミュニティを提案

4. 創造都市とコミュニティ、ネットワーク⑤

創造都市の条件と戦略

- 創造都市の条件
 - － 異質な要素の加入が許容され、都市の構成要素であるアクターに多様性があること
 - － アクター間の結びつきを支える創造性のネットワークがあり、さらには、ネットワークに循環構造が形成されていること
 - － 構成要素であるアクターの創造的な潜在能力を高める機会があること
 - － アクターの創造的な活動やアクター間における創造性のネットワークや循環構造を支えるような、生活の質や社会的雰囲気等の社会的環境、文化的インフラストラクチャを含んだ創造の場及び社会的基盤が形成されていること
- 創造都市の戦略
 - － 創造都市とは総合政策であること——行政の推進体制
 - － 創造都市では、その構成要素間でインタラクティブな関係が形成され、創造的な循環メカニズムが働いていることが必要であるため、創造都市戦略とは本質的に総合政策でなければならない
 - － このような、〈経済、産業、都市、文化、アートの相互循環の仕組み〉が実現しない都市があるとすれば、その最大の障害は、縦割り社会・縦割り組織ということになる

5. 文化の創造と多様なコミュニティ&ネットワーク①

文化創造企業と地域内のコミュニティ:カナダ・モントリオール

- モントリオールには、ゲーム産業のUbisoft、エンターテインメントのLe Cirque de Soleil等の世界的に有名な文化創造産業あるいは知識産業が立地
- これらの企業は大規模な研究開発部門を持たず、その文化／知識創造的能力は、都市内の起業の垣根を越えた無数のコミュニティに依存している
- クリエイティブな人材、知的能力の高い人材は、これらの文化創造／知識創造企業の専門家コミュニティに属しているとともに多様な趣味的なコミュニティにも属している
 - プロフェッショナル・コミュニティ
 - 実践的コミュニティ:あるテーマに関する関心や問題、熱意などを共有し、その分野の知識や技能を持続的な相互交流を通じて深めていく集団
 - そのようなコミュニティの中で文化創造能力が育まれる

5. 文化の創造と多様なコミュニティ&ネットワーク②

文化創造企業と地域内のコミュニティ:カナダ・モントリオール つづき

- 文化創造／知識創造企業は、プロジェクトを管理運営する中でこれらのコミュニティから人材を調達し、コミュニティの中で育まれた文化創造能力を活用する
 - プロジェクト・ネットワーク:期間と任務が限定された、多様なアクターからなるネットワーク
 - 都市内の主要な企業を通じて不断にプロジェクトが生まれ、都市内のコミュニティの中からプロジェクト・ネットワークを絶えず編成していくことで、都市内のコミュニティ間にネットワークを形成するとともに、それらの文化創造能力に刺激を与えている

5. 文化の創造と多様なコミュニティ&ネットワーク③

都市の文化産業群と文化コミュニティのネットワーク: 英国

- 英国のリヴァプールやマンチェスターでは、ポピュラー音楽においてシーンといわれるオーディエンスを中心とした文化コミュニティがミュージシャンや音楽事業者、音楽ジャーナリスト、演奏空間等とネットワークを形成し、ポピュラー音楽活動を支えている。
- 個々のシーンの間にはゆるいネットワーク関係が形成されるとともに、ダンスやファッションなどの隣接するポピュラー文化の他の分野と密接に結びつくことで都市全体に及ぶ文化コミュニティ間のネットワークが形成され、お互いに刺激し合い都市内の文化活動を支える環境となっている

5. 文化の創造と多様なコミュニティ&ネットワーク④

ネットワーク組織としての都市

- ネットワーク組織とは:複数の個人、集団、組織が、特定の共通目的を果たすために、社会ネットワークを媒介にしながら、組織の内部あるいは外部にある境界を超えて水平的にかつ柔軟に結合しており、また境界があいまいであり(ボーダレス)、分権的・自律的に意思決定できる組織形態
 - 特徴
 - 変化への柔軟な対応と自己革新能力の高さ
 - 創造性や革新性が高い:アイデアの創造やイノベーションに適している
 - モントリオールにおける文化創造企業と各種の文化的コミュニティのネットワークやマンチェスターの文化産業を取り巻く文化コミュニティのネットワークが作り出している状況は、都市全体が一つのネットワーク組織を形成している
- これからの都市の様々なコミュニティの関係のあり方として重要ではないか

6. 文化政策(文化プロジェクト)の効果①

黒壁によるコミュニティ・ビジネスの展開と秀吉博：滋賀県・長浜

- 概要：衰退した中心市街地の再生を目的として1989年買取った保存建築物を利用して、ガラス事業を中心とする店舗展開によって中心市街地を活性化。さらに、文化イベントを通じて市内の事業者やNPOなどのネットワークが交差・複合化。
- 黒壁は89年に3店舗開店、91年には、さらに4店舗開店。その後、黒壁の考え方や価値に賛同する市街の事業者も参入し、現在では黒壁グループとして34店舗に及ぶ。
- 黒壁の活動は、ガラスの製作・展示・販売事業だけでなく、買い取った建物の店舗としての利用することを通じて街並みの保存・整備を行っている
 - － 黒壁の活動により来街者は徐々に増え、89年に約10万人であったものが、2001年には200万人を超えている。それに応じて黒壁の収益も順調に拡大。
 - － 黒壁は自分の事業を展開するだけでなく、長浜のまちづくり推進のネットワークの核としても活動。これに影響されて多くの市民活動組織が生まれ、黒壁を中心とするまちづくりのネットワークが形成。
 - － 他方で、メディア等の影響もあり、中心市街地の商店の中には黒壁の成功に影響され積極的な経営に転ずるものが出てきたこともあって、中心市街地の空き家・空き店舗は減少

長浜市位置図



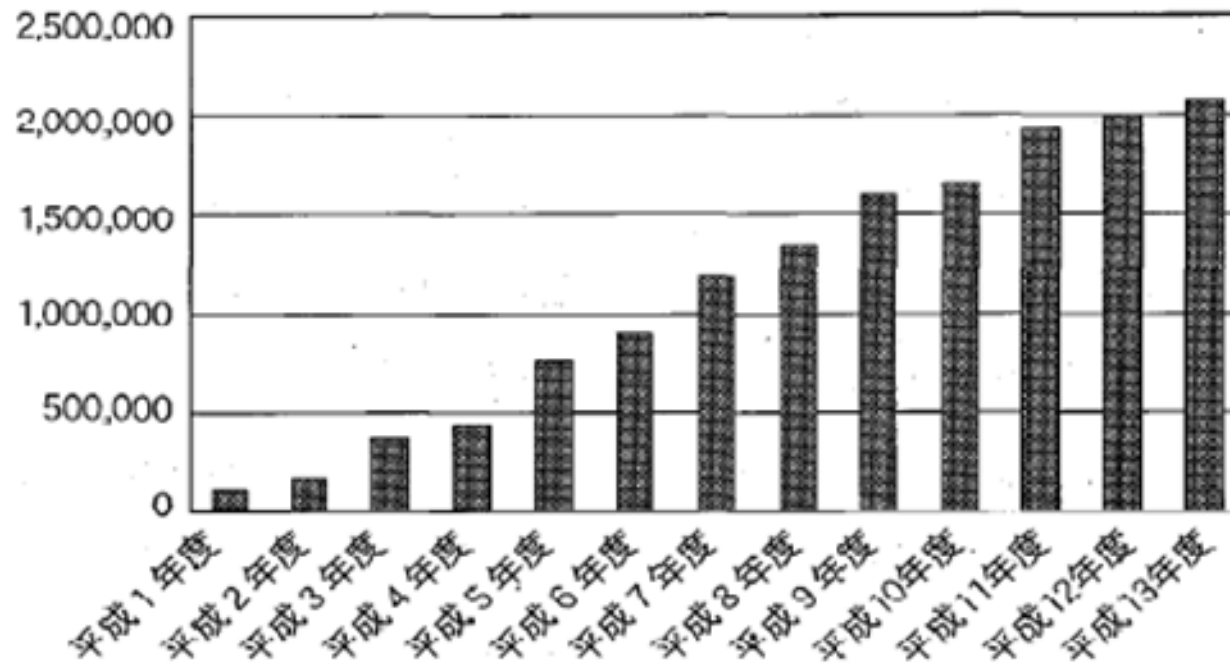
長浜市曳山祭り



長浜市中心市街地



来街者数の推移(平成元年～14年)



黒壁の店舗と事業その1



黒壁の店舗と事業その2



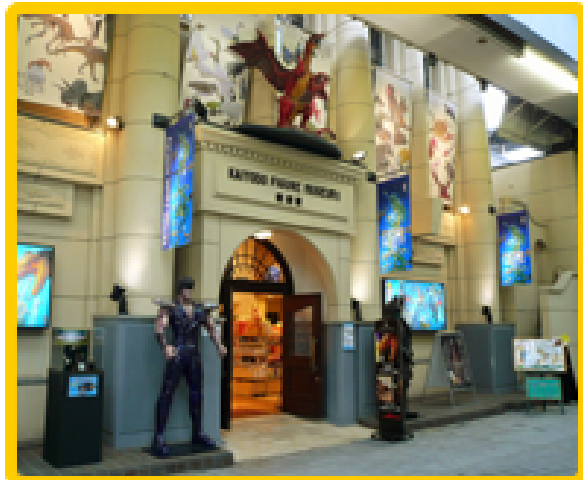
ANTIQUE GALLERY LONDON

華麗 長浜に到着。

新着入荷フェア。
英国より買いたばかりの新着アンティーク商品を
数多く販売しております。
日本の住宅事情にも合う英国アンティークを是非ご覧ください。
備品の様子、感動をお楽しみください。

県営26号館 ロンドン
アンティークギャラリー 倫敦
ANTIQUE GALLERY LONDON

〒526-0069 滋賀県長浜市元浜町21-36 TEL.0749-68-3001
AM10:30～PM6:30 (11月～3月はPM5:00まで)



長浜中心市街地の状況



6. 文化政策(文化プロジェクト)の効果②

黒壁によるコミュニティ・ビジネスの展開と秀吉博:滋賀県・長浜

- 秀吉博とネットワークの複合化、新しい事業の創成
 - このような状況において、1996年、市を挙げて当時の大河ドラマ「太閤秀吉」にあやかった「北近江秀吉博覧会」が開催。秀吉博は、長浜のこれまでの歴史や伝統、まちづくりの方向性を改めて確認し、新たな道を開こうとするものであった
 - 1000人を超えるボランティアが活動する等多くの市民の参加を導いた
 - 黒壁グループ、青年会議所メンバー、商店街の人々、市役所、数々の市民活動団体、高齢者等、それまではあまり相互に接触することがなかった様々な人たちが参加し、協働するという経験が得られた
 - このイベントが契機となって市内の様々なネットワークが交差し、複合化されるようになっていった
- このイベントを通じて形成されたネットワークの中から、プラチナプラザ、出島まちづくり塾、まちづくり役場などのコミュニティ・ビジネスや非営利組織が生まれ、いずれもその後長浜のまちづくりの重要なアクターとして活動している

6. 文化政策(文化プロジェクト)の効果

黒壁によるコミュニティ・ビジネスの展開と秀吉博:滋賀県・長浜

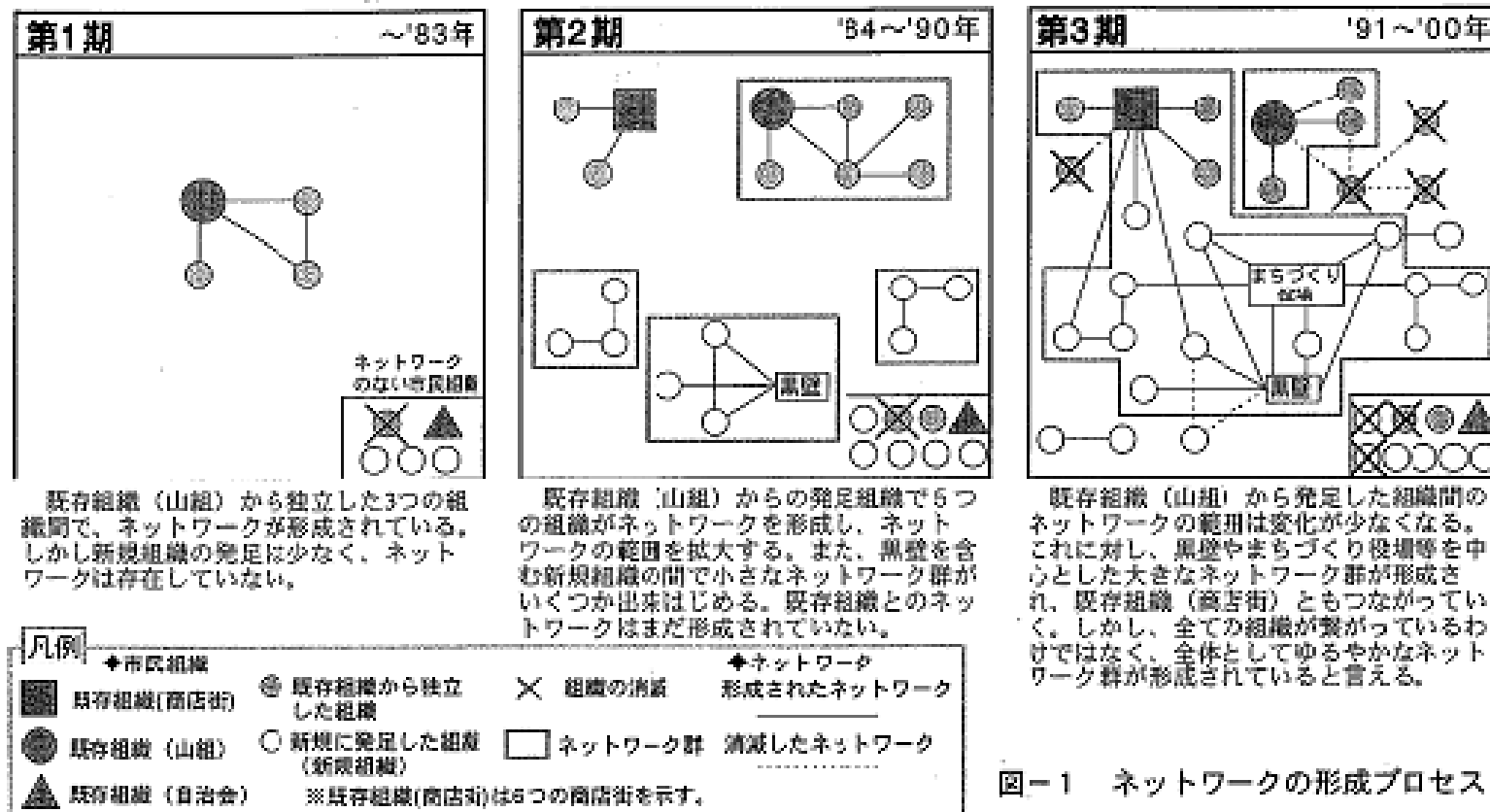


図-1 ネットワークの形成プロセス

6. 文化政策(文化プロジェクト)の効果③

黒壁によるコミュニティ・ビジネスの展開と秀吉博:滋賀県・長浜

- 黒壁の事例から引き出せること
 - － 非営利的な部分に支えられたまちづくり活動が地域を活性化させることによって事業性も確保され、それがまちづくりをさらに展開させるという構図を見ることができる
 - 一事業の利益というよりも長浜の地域の魅力を生み出すことで事業そのものの利益にもつながっている
 - コミュニティ・ビジネスとしての成功
 - － 長浜をテーマにした市を挙げたイベントである秀吉博の掲げる共通の目的・理念が、市民の長浜に対する思いを引き出し、市民の参加や協働を導き、参加した活動間のネットワーク(複合化されたネットワーク)を形成した
 - － このようなネットワークがプラチナプラザなどの別のコミュニティ・ビジネスを生み出し、支えている

6. 文化政策(文化プロジェクト)の効果④

都市のイメージ戦略とヨーロッパ文化首都: 英国・グラスゴー

- エディンバラと並ぶスコットランドの中心都市。戦後経済は大きく衰退。
- 経済的に衰退した都市を再生させるため、都市のイメージ再構築を狙ってイメージ戦略を打ち出し、その一つの方策としてヨーロッパ文化首都という大掛かりな文化イベントを開催
- →基本的にはネガティブなイメージの工業都市から文化都市へという対外的イメージの再構築を図り、それによってツーリストや域外からの投資を引き付けることを狙った

6. 文化政策(文化プロジェクト)の効果⑤

都市のイメージ戦略とヨーロッパ文化首都: 英国・グラスゴー

- しかし、文化都市という新しい地域のイメージに対してグラスゴーの地域社会内部で論争を巻き起こし、これによってかえって地域アイデンティティが活性化
 - ヨーロッパ文化首都という都市全体を挙げての大がかりなイベントへの様々な人たちの参加と取り組みの経験、その後の文化都市というイメージに対する論争が地域内の多くの人たち、コミュニティを結びつける働きをした。
 - 当初は、文化都市というポジティブな変化を積極的に受け入れようとする人たちは、ビジネス界、行政関係者、芸術家や文化事業者などに限られていたが、このようなネットワークを通じて他のコミュニティにも影響していった
 - イメージ戦略と文化首都は、このような過程を通じて、グラスゴー市の文化(志向性、積極性、新しいものへの取り組み姿勢・考え方、アントレプレナーシップ等)に影響を与えることを通じて都市再生に貢献した
 - その点で、ランドリーのいうネットワークを通じたアクター間の連鎖反応によってシステムの変革をもたらすという議論に近い

7. 熊本市での展望